

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・無医地区等の住民の受療機会の確保に向けて、へき地医療拠点病院による巡回診療等医療活動に対する支援を行った結果、巡回診療や代診医等の派遣が409回実施され、地域の実情に応じたへき地医療が確保された。
②	・大分県ドクターヘリの基地病院である大分大学医学部附属病院にヘリの格納庫を整備したことにより、機体の整備環境が改善され、また、台風等の悪天候の場合でも一時退避が不要となり、運航体制が強化された。 ドクターヘリ格納庫整備事業：H27.11月完了
③	・在宅医療提供体制構築のための取組を行う団体等に対する助成を実施した。また、在宅医療に関する各職種の取組の成果を共有を図るため、先進的な取組に関して発表するフォーラムを開催した。 大分県在宅医療推進フォーラム H27.11月実施(参加者445人)
④	・「大分県難病相談・支援センター」において、難病患者やその家族からの日常生活や療養の相談・支援、地域交流活動の相談・開催、就労に関する相談・支援、啓発・情報提供等を実施した。 相談等件数・・・879件
⑤	・前年度に策定した第三期中期事業計画に基づき、急性期病院としての基盤づくりを推進すると共に、大規模改修工事や病院総合情報システムの更新に着手するなど、県民医療の基幹病院としての体制整備の強化を図った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	28年度の方向性	
①	おおいた医学生修学サポート事業	107,905	A	継続・見直し	51
②	ドクターヘリ運航事業	392,557	A	継続・見直し	52
③	在宅医療連携拠点体制整備事業	94,217	B	継続・見直し	53
⑤	県立病院対策事業	1,390,764	A	継続・見直し	54

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○医療計画策定協議会(H27.8)</p> <p>・高齢者が集中する慢性期や在宅医療において、医療の質が低下しないように。</p>	
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療推進フォーラムの実施により、多職種の先進事例や好事例の共有につながった。今後も、市町村をまたがる広域的な在宅医療の取組の支援を図る。 ・ヘリ3機体制の安定的な運航を支援するとともに、災害・救急医療に対する研修・訓練等を実施し、広域救急医療体制の充実を図る。 ・地域医療構想の実現に向け、各医療機関の自主的な取組と地域医療構想調整会議における協議を実施する。 ・医療を必要とする人が、どこに住んでいても適切なサービスを受けられるよう、引き続き救急医療、へき地医療の充実を図るとともに、大分大学医学部附属病院等との協力により県内の医師の適正な確保・配置を図る。